

ことうら議会だより

2023年5月1日発行 第76号



トピックス

- ・令和5年度予算決まる …… P 2～5
令和5年度予算修正可決
- ・町長問責決議否決 …… P 6～7
- ・一般質問 …… P 13～25

晴天のもと、交配すすむ

ジョイント仕立て法という新技術を取り入れた梨畑です。

樹木と樹木をつなげることで、作業時間が大幅に短縮されるなどの効果が期待されています。

収穫の季節が楽しみです。



令和
5年度
予算

ポストコロナ持続

3月定例議会を3月6日から3月24日まで19日間の会期で開催した。
本会議では条例14件、令和4年度補正予算7件、令和5年度予算17件
監査委員の選任について同意した。

また、議員提出議案「町長に対する問責決議について」は賛成少数で否

暮らし



白鳳祭、第30回記念大会

600万円

暮らそうコトウラ新築奨励金

2670万円

若者・子育て世帯を対象にした新築奨励金

分別回収推進に向けた実証実験

生ごみの減量を目指し、分別回収による堆肥化を検

346万円

討する実証実験、3集落で実施

子育て・福祉



ふなのえこども園・成美地区公民館建設事業

9億8282万円

町立放課後児童クラブの運営委託

4500万円

中学生のピロリ菌検査及び除菌事業

58万円

聴覚検査及び補聴器補助事業

190万円

集団検診時の聴覚検査、補聴器購入助成3万円

可能な地域社会の実現

(一般会計予算は一部修正)などを可決、教育委員会教育長の任命と決した。

産業振興



事業承継・引継ぎ啓発セミナー

後継者不在事業者等を対象にした啓発セミナー

150万円

退職就農条件整備事業補助金

定年退職などを契機に就農する人で、国や県の就農事業の対象とならない年齢層に対する農業用機械・ハウスの導入支援

90万円

もうかる6次化・農商工連携支援事業

赤碓港で水揚げされた水産物の高付加価値化設備導入

310万円

防災



避難所用非常電源装置の設置

分庁舎、生涯学習センター、古布庄地区公民館、旧以西小学校、東伯総合公園に非常用電源装置を設置

409万円

AED(自動体外式除細動器)の屋外設置

東伯総合公園、赤碓総合運動公園、各地区公民館に屋外AEDを設置

391万円

町長の施政方針

「人を大切に」「魅力ある環境」「輝く産業経済」を柱へ

ポストコロナへ大きく舵をきらなければならないところで、これからの経済・社会、そして地域活動の再開にむけて、誰一人取り残さず、誰もが住みやすく、働きやすい「持続可能な地域社会の実現」を目指します。

1. 人を大切に

誰もが、生きづらさを感じることなく、心豊かに生活を送ることを基本とし、未来を担う子どもたちはもちろん、年齢や性別、障がいの有無を問わず、あらゆる人が自分らしく豊かで活躍することができる社会を実現していかなければなりません。

また、人と人とのつながりを回復するために自治活動の支援を強化するなど、町民が支え合う「共生社会」の実現をめざします。そして、子ども家庭庁の設置にあわせ妊娠期から成人に至るまで一貫して切れ目なく寄り添い、子育てに不安のない仕組みや相談しやすい環境をつくります。

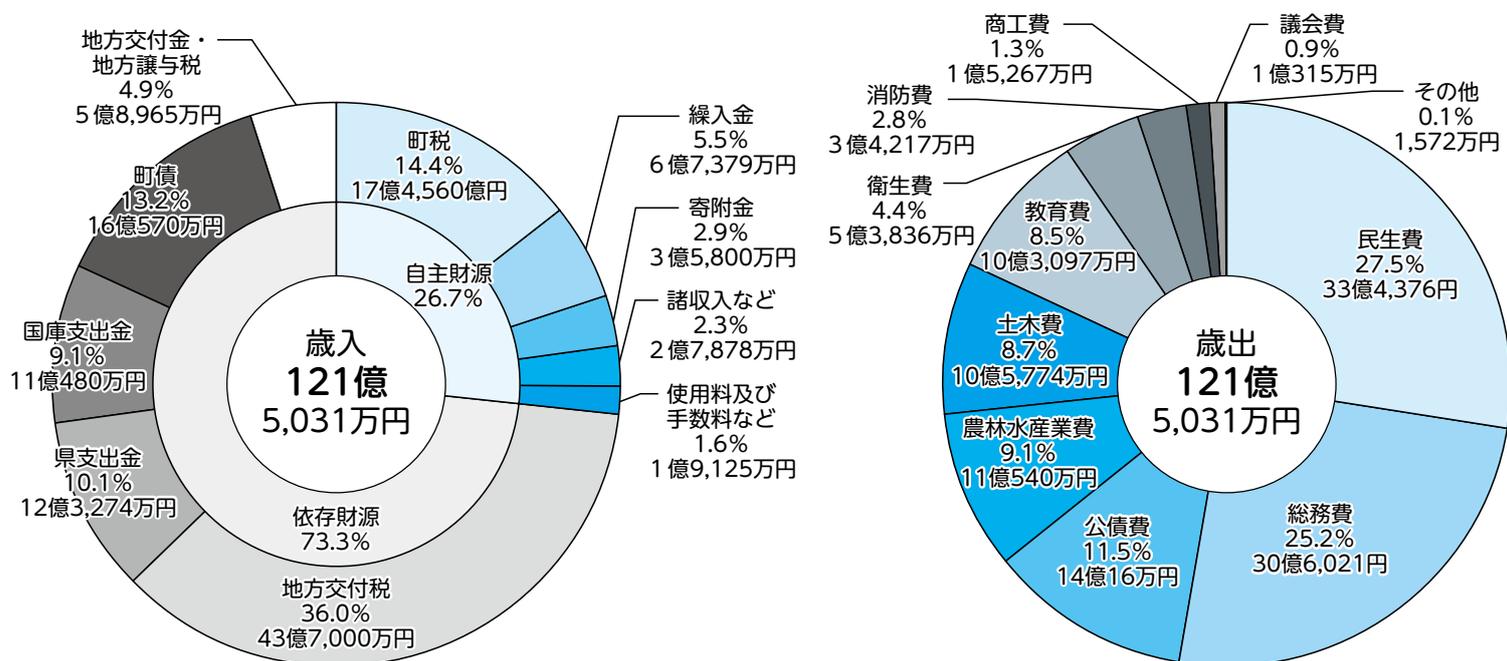
2. 魅力ある環境

脱炭素社会に向けた「ことうらゼロカーボンチャレンジ宣言」を行い、新たに家庭ごみを資源化する実証実験を行います。また災害に強い環境づくりとして、避難所へ非常用電源を整備し災害への備えを強化します。

公共施設の老朽化は深刻化しており、改修や更新は各所で喫緊の課題となっており、早急に実施が必要な修繕は行ってまいります。

3. 輝く産業経済

町内の経済や社会の回復を図るため、物価高騰への直接的な支援として農業にかかる肥料高騰対策支援のほか中小企業のほか利子補給を引き続き行います。各種イベントを通して販路拡大と関係人口やふるさと納税の拡大を図るとともに、観光による町内消費を促します。一次産業分野では引き続き生産拡大に向けた取り組みと新規就農に対する支援を行います。さらにDXの推進を加速し行政事務の効率化や住民の利便性と行政サービスを向上させます。



令和5年度 琴浦町一般会計予算

生涯学習 センター関連 を含む 3 事業を減額

一般会計予算を修正可決

3月定例議会の最終日、桑本始議員ほか8名が、議案第24号令和5年度琴浦町一般会計予算に対する修正動議を提出し、修正案を可決した。それに伴い、修正議決した部分を除く原案について諮ったところ、全会一致で、一部修正案を可決した。これにより、生涯学習センターの改修は再び先送りとなった。

減額された3事業

生涯学習センター空調改修工事詳細設計委託料	1521万円
一向平キャンプ場水風呂設置工事等	726万円
参与報酬	222万円

修正案討論

修正案に賛成

桑本^賢 議員

白鳳の郷活性化協議会の委託問題など、行政課題の解決は参与ではなく、副町長を中心とした、正規職員が取り組むべき。

前田 議員

3事業について、するなとは言っていない。きちっと精査した上で計画性をもってやって欲しい。

押本 議員

特別職の参与職は役場OBではなく第三者とか、あるいは違う見識のある方を任命すべき。3月21日に生涯学習センターで発生した空調設備の漏水問題と今回の空調改修設計予算は次元が違う。

修正案に反対

金光 議員

生涯学習センターの空調設備は早急な更新が必要だと考えるため、予算の減額には反対する。

田中 議員

生涯学習センターの改修問題は、昨年の町長選挙の争点の一つであった。今回の町長提案は町長選挙により有権者から支持を得た、町民の声の実現である。住民の代表である町議会が町民の声を否定、無視することは許されない。

山本 議員

参与職の設置は地方自治法に基づく町長の権限であり、議会が関与するのは行き過ぎ。

3月定例議会最終日、町長に対する問責決議が押本昌幸議
福本町長の弁明の後、討論が行われ、賛成3、反対10で

(問責決議の要旨)

3月定例議会の「予算・決算特別委員会」で「令和5年度一般会計当初予算」が否決された。その主な理由は次のとおり。

①職員OBを「参与」に再任用する人件費。

参与の任用により町職員間の混乱、不信感等を招いた。

②「まなびタウン」改修にあたり、緊急性のある「空調更新工事設計費（工費約2億円）」のみで、「福祉のまちづくり条例」*等で改善の求められている工事等について計画性がない。

③一向平のネイチャーサウナの水風呂整備が「RC（鉄筋コンクリート）造では自然景観を損なう」。また、1月1日発令の課長の人事異動など、福本町長の一連の動きは誠に遺憾である。よって、琴浦町議会は福本町長の責任をここに問い、猛省を強く求める。

*鳥取県福祉のまちづくり条例（平成20年鳥取県条例第57号）

この条例の施行前に建設された生涯学習センター（まなびタウン）は条例の適用対象になりません。しかし令和4年の改正により、「新築、増築、用途変更」する場合には対象になります。

(町長弁明の要旨)

3月議会での一般会計当初予算における参与の人件費削減について弁明する。

「琴浦町議会政治倫理条例」は第3条で定める政治倫理基準を遵守しなければならないとある。

その遵守しなければならない項目に、議員は職員の採用、昇任、降任、異動その他の人事について影響力を行使しない事とある。

参与の職については、地方公務員法第3条に規定があり、町長が任命することになっている。

参与の任命は、職員の業務上のミスや誤りを糾弾し責任追及するのではなく行政職員が法令等を遵守して事務処理をしているか、コンプライアンスの視点からチェックし、その結果、不適切な点等が発見されれば、必要な修正や改善、そして提案や助言を受けるのが目的である。

直近では、議会で報告したとおり、町有地の芝管理委託契約関係の一部不適切な運用の指摘、改善について助言を受けた。

個別の人事案件ではない今回の参与の人件費予算削減は「議員は人事について影響力を行使しないという琴浦町議会政治倫理条例」に反するおそれがある。

これは町長の参与任命権の侵害、選挙で私に期待された4,800余りの町民の意思を無視するものであり、決して認められない。

決議を否決

員（提出者）、桑本賢治議員（賛成者）により提出された。
否決した。

討 論

賛 成

桑本賢 議員

町長の弁明を聞きました。しかし、実際に行われたことに対して、よくないと判断しました。

反 対

田中 議員

反対する理由は町長が弁明したとおりです。議会が町長の人事に干渉することは問題です。議会は地方自治法に基づいて運営されており、それを逸脱することがあってはならないと思います。

賛 成

3

反 対

10

論 点

議会のチェック機能は？

問責決議案にもありましたが本定例議会中、複数の議員から参与の設置や1月に実施された課長の人事異動について質問や意見が出されました。

このような人事に関する質問や意見は自由ですが、「人事権」は任命権者である町長にあると地方公務員法で規定され、議会にはありません。

また、琴浦町議会政治倫理条例では、議員が遵守しなければならない項目に、町職員の採用、昇任、降任、異動その他の「人事について、影響力を行使しないこと」と定めています。

しかし一方で、参与報酬は義務的経費ではないため、議会は予算を減額修正できることも事実です。

議会のチェック機能を果たすため、議員はその根拠となる法律や条例を理解し、今後もさらに責任をもって活動します。

(参考)

義務的経費

職員給与・契約上の支払・債務負担行為など経費負担が義務付けられているもの。

地方公務員法第6条（任命権者）

任命権者は職員の任命、人事評価、休職、免職及び懲戒等を行う権限を有する。

地方自治法第148条（事務の管理及び執行権）

普通地方公共団体の長は、当該普通地方公共団体の事務を管理し及びこれを執行する。

地方自治法第96条（議決事件）

議会は条例の制定・改廃、予算を定める、決算の認定など15件の権限を持つ。

教育委員会教育長の任命について

教育委員会教育長の任命について同意した。

かわはら ひろし
河原 裕司 (52歳)

任期 令和5年4月1日～令和7年10月26日



監査委員の選任について

監査委員の選任について同意した。

いなた ゆうじ
稲田 裕司 (65歳)

任期 令和5年4月1日～令和9年3月31日



請願・陳情

番号	件名	提出者	付託委員会	委員会の意見	本会議採決結果
5年 請願 第1号	国による学校給食無償化を求める請願	新日本婦人の会鳥取県本部 会長 山内淳子	教育民生	採択	採択
4年 陳情 第9号	子どものために保育士配置基準の引き上げによる保育士増員を求める意見書の提出を求める陳情書	鳥取の保育を考える会 会長 石井由加利	教育民生	採択	採択
5年 陳情 第1号	日本全体で解決すべき問題として、普天間基地周辺の子どもたちを取り巻く空・水・土の安全の保障を求める陳情書	#コドソラ 代表 与那城千恵美	総務産業	不採択	不採択
5年 陳情 第2号	陳情書	竹内自治会 区長 大下章彦	部落要望のため、議会運営委員会にて文書扱いとした		
5年 陳情 第3号	政府に食料自給率の向上、持続可能な農業経営と農村を守ることを求める陳情書	鳥取県農民運動連合会 会長 雑賀敏之	総務産業	採択	採択
5年 陳情 第4号	安保関連3文書の閣議決定に抗議し、大軍拡、大增税の中止、暮らしと福祉に予算をまわすよう求める「意見書」採択を求める陳情	平和・民主主義・豊かな暮らしをめざす鳥取県の会 代表世話人 山内淳子	総務産業	不採択	不採択

賛否が分かれた議案等の起立採決による審議の結果

議案等	審議結果		金光	小椋	谷田	田中	川本	山本	押本	澤田	桑本	川本	小椋	手嶋	前田	桑本	井木	大平
	賛成	反対	敦	憲浩	順子	肇	善孝	秀正	昌幸	豊秋	賢治	正一郎	正和	正巳	智章	始	裕	高志
安保関連3文書の閣議決定に抗議し、大軍拡、大增税の中止、くらしと福祉に予算をまわすよう求める「意見書」採択を求める陳情	不採択	2	12	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	欠	議
令和5年度琴浦町一般会計予算の修正案	可決	9	5	×	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	欠	議
町長の問責決議について（議員提出議案第6号）	否決	3	10	×	退	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	欠	議

この表に掲載していない議案は全会一致で可決、請願は全会一致で採択または不採択となった。

○=賛成・採択 ×=反対 欠=欠席 議=議長 退=退席 除=除斥

1月臨時会（1月25日）

令和4年度一般会計補正予算（第8号）

予算案否決

物価高騰対策支援として、ことうら商品券を1世帯5千円、総額3227万円配布する事業について、人数割を求める意見多数で否決、2月臨時会に再提出となった。

2月臨時会（2月13日）

令和4年度一般会計補正予算（第8号）

補正額：8617万9千円

可決された主な補正予算

- 物価高騰対策町民支援商品券配布事業 5595万円
1世帯3千円+世帯員×2千円に
- 畜産経営緊急救済事業 1123万円
- 肥料価格高騰対策事業 95万円
- 新型コロナウイルス感染症対策事業 108万円



委員会

教育民生常任委員会

委員長 澤田 豊秋

3月16日に委員会を開催し、各課からの報告事項等の説明を受け審議を行った。
また、委員会に付託された「子どものために保育士配置基準の引き上げによる保育士増員を求める意見書の提出を求める陳情書」、「国による学校給食無償化を求める請願」について審査し、全会一致で採択することに決した。

《質疑応答》

Q 改修された通称たこ公園になぜトイレが設置されなかったか。ポート赤碕内にはトイレがあるが、幼児や子ども連れにとっては距離が遠い。

A 基本は今あるトイレの改修で、今後検討していく。

Q オミクロン株に対応したワクチンを接種することが大切であり、わかりやすくPRして欲しい。

A 周知に努めていく。

Q 地域や政治分野での男女共同参画は進んでいないため、男女共同参画プランに取り入れては。

A 具体的に示せるものはないが、プラン作成の中で今後検討する。

Q 桂南光独演会を町と教育委員会が後援したチラシに「リバイバルカウベル！」が記載されていた。誤解を受けるのではないか。今後の対応を考えるべきでは。

※現在、「カウベルホール」は条例廃止されており利用できません。

A 企画書だけで後援をOKした。チラシ確認はさせてもらえないなか、既に出してしまっていた。文書で申し入れる。

Q 差別事象について口頭で報告があったが、事実確認など、マニュアルに基づき議論され、どう対応するかが重要ではないか。課題を整理して取り組んで欲しい。また、もっとスピーディーな動きが必要ではないか。

A 今後気を付ける。

Q 放課後児童クラブが民間委託になるが、学校等との連携はどのように考えているか。

A 就学前の子ども達の様子や、他町の実施されているところを参考に、これまで以上に充実していきたい。



子ども用トイレ（どんぐり公園）
どんぐり広場多目的トイレ



放課後児童クラブ



総務産業常任委員会

委員長 川本 正一郎

3月20日に委員会を開催し、各課からの報告事項等の説明を受け質疑を行い、委員会付託された陳情請願3件の審議をした。終了後に役場本庁舎と分庁舎の現状視察を実施した。

また、東伯農業改良普及所の池田所長を講師に迎えて研修会を行った。

《質疑応答》

Q 建設資材や人手不足で災害復旧工事などの遅れは。

A 浦安地区公民館改修工事は、エアコン資材が整わないために少し延滞する。

災害復旧作業の遅れについては、これ以上ない見込みである。

建設関係会社は、以前は28社余りあったが現在18社となり、これ以上減れば災害復旧工事や除雪作業などの遅れが懸念される。

Q ゴリン橋架け替え工事計画と現在は使用可能なのか。

A 橋の使用は可能。早急に橋の東側に設置する計画で取り組むが、今後のスケジュールは令和7年度の完成を予定している。

Q 空き家対策、住宅リフォーム補助支援の状況は。

A 危険空き家が多く、相談もあり随時調査している。コロナ対策でリフォーム補助を実施したが好評で、3か月間で枠がいっぱいになってしまった。今後も検討を続ける。

Q 上郷地区などの町水道への編入状況は。

A 上郷地区は昨年に編入同意を得ている。倉坂、岩本の各用水組合に訪問説明をして編入意向調査をしている。また令和6年度に水道ビジョンの見直しを予定している。



ゴリン橋

常任委員会研修会

「東伯農業改良普及所の活動について ～琴浦町農業への支援～」

[重点支援事業]

- ・ 関係機関と連携した新規就農希望者および新規就農者への総合的支援
- ・ スマート農業等新技術の実践及び働き方改革による収益向上
- ・ 女性の能力発揮支援と経営参画支援
- ・ 次世代型農業支援サービス等による地域農業の振興と農村地域の活性化
- ・ GAP*の導入、気候変動への対応等基本的課題に対応した取り組みの推進

※GAP (ギャップ)

農業生産において、食品安全だけでなく、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組のこと。

農業従事者が、この10年で34%減少した。親元就農支援と農家の孫世代の就農相談と支援を実施し、今後は第三者の農業事業継承も視野に入れた活動も検討が必要だと思う。

生産組織や企業的農業経営を目指す者への支援をする。



研修会の様子



委員会の報告



予算・決算特別委員会

委員長 押本 昌幸

議案第24号「令和5年度一般会計予算」から議案第40号「令和5年度下水道事業会計予算」までの計17議案の付託を受け、3月13・14・15日の3日間、町提出の「事業説明書」に基づき関係各課からの聞き取りを行い、審議した。

その結果、議案第24号「一般会計予算」については、賛成少数で否決した。また、議案第26号「住宅新築資金等貸付事業特別会計予算」については、賛成多数で可決。その他の、議案第25号から第40号までは全会一致で可決した。

なお、委員会終了後、有志の議員から、修正案提出の意見が出された。

否決した議案第24号「令和5年度一般会計予算」について

- ①「総務費」のうち「参与報酬」の、主に「参与」の位置づけについて疑義が出た。
- ②「商工費」の「一向平（いっこうがなる）キャンプ場水風呂工事詳細設計委託料」「同設置工事費」については、水風呂の「コンクリート造り」について自然のなかでの景観を損なう。
- ③「社会教育費」のうち「生涯学習センター空調改修工事詳細設計委託料」については、築25年を経過して老朽化している「生涯学習センター」の、改修そのものについての全体計画が必要だとのことから、「空調改修工事詳細設計」だけでは充分ではない。

表彰

全国町村議会 議長会表彰



小椋 正和 議員

鳥取県町村議会議長会長として在職し、功労があったとして表彰を受けました。

鳥取県町村議会 議長会表彰

21年以上町村議会議員として在職し、功労があったとして表彰を受けました。



川本 善孝
議会広報常任委員長

鳥取県町村議会 議長会表彰

第30回鳥取県町村議会会広報コンクールにおいて、佳作受賞

ここが聞きたい

一般質問

Q&A

一般質問とは、議員が、町長・教育長・農業委員会会長・選挙管理委員会委員長・監査委員などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて問うもの。

質問議員	質問事項	掲載ページ
通告1番 小椋 憲浩	1. デジタル田園都市構想の取り組みについて 2. 町営バスについて 3. 交通安全対策（チャイルドシート）について	14
通告2番 桑本 賢治	1. 町長の政治姿勢と推進体制について 2. 鳥取中央農協店舗閉店について	15
通告3番 澤田 豊秋	1. 人権尊重の社会づくりについて	16
通告4番 川本 善孝	1. まちづくりセンター化の中間総括について 2. 『国連家族農業の10年』の取り組みについて	17
通告5番 田中 肇	1. 東伯総合公園及び赤碕総合運動公園の改修・運営等に関わるPFIについて 2. 町生涯学習センター(まなびタウン)の整備方針について 3. 住民サービスの向上について 4. まちづくりセンター構想について	18
通告6番 谷田 順子	1. 琴浦町人権施策基本方針の推進状況について	19
通告8番 川本正一郎	1. 住みたい町づくり 2. 地域の活性化対策	20
通告9番 手嶋 正巳	1. 鳥獣害対策について 2. 带状疱疹ワクチン接種の助成について	21
通告10番 押本 昌幸	1. 「まなびタウン」の構造上の留意点である「混構造」について 2. 「鳥取県福祉のまちづくり条例」関連について 3. 一般論として「長寿命化」工事とはどんな手順ですか 4. 町長の主張は、どちらがほんとか 5. 町長部局と教育委員会部局との関係について	22
通告11番 金光 敦	1. 保育業務の現状について 2. 婚活について	23
通告12番 小椋 正和	1. 東伯総合公園及び赤碕総合公園について 2. サッカー場の整備について	24
通告13番 桑本 始	1. 若者定住等による集落活性化総合対策事業について 2. 「未就園児・無園児」と虐待について 3. 畜産農家の救済対策と堆肥処理施設整備（みどりの食料システム戦略）について	25

※青字は、本誌では省略



通告書



事項一覧



小椋 憲浩 議員

問

デジタル田園都市構想の取り組みについて

答

住民移動手続きのワンストップ化を加速
福本町長

質疑応答時間 (11回 (質問) 26分 + (答弁) 23分) (トータル) 49分

問 デジタル田園都市構想交付金は3種類、そして3つのタイプがある中で本町の具体的取組みを伺う

- ①マイナンバーカードの高度利用化について。
- ②公共交通、共助交通などの整備、活用についての取組みを伺う。

答 東京一極集中の是正、デジタルの力を活用した地方の社会課題の解決を図るのが目的である 福本町長

- ①住民移動に関連した手続きをワンストップ化、いわゆる窓口のDXになる。避難受付時の手続き、罹災証明など本人証明に係る町民カード化に取り組む。
- ②現在の実証実験を見ると、デジタルを活用したスマホの予約は行ったが、電話予約のほうが先行している。全面的なデジタル化にはむいていなく、少し検討していく必要がある。

答 マイナンバーカードの活用シーンがまだ具体的に浸透していないのが実情。現場の知見、町民に一番近い基礎自治体の中から、知見を生かした政策を国に申し上げていくような政策能力を磨き上げていく。そのために本年度予算には職員研修の一環で政策提案コンテストを目指した学習など、2年をかけて現場の提案を取り上げる事業を行っていく。
田邊副町長

問 町が所有するバスの更新と今後の運営や利便性の向上について伺う

答 バス路線の見直しなど、令和7年度の再編に向けて協議を進めている。高齢者の利用率が高い事から規模の大きい可能性を検討していく必要がある。
福本町長



ことうらバス

問 交通安全対策

チャイルドシートの着用率向上に向けての取り組み経過、効果、結果を踏まえた今後の活用について伺う。

答 令和元年調査では着用率は77%。こども園などで保護者が集まる時機会を捉えて啓発をしている。また譲渡会などの仕組みを活用しながら着用率を高めていく。
福本町長



幼児用チャイルドシート

— お詫びと訂正 —

本誌、令和5年2月1日第75号の9頁において誤りがございましたので、訂正しお詫び申し上げます。

誤「森林環境贈与税」 正「森林環境譲与税」



町長の政治姿勢と推進体制について



「人を大切にする」ことを基本に、
新たな展開に向けて、令和5年度
当初予算に反映した **福本町長**



桑本 賢治 議員

質疑応答時間 (16回 (質問) 21分 + (答弁) 29分) 50分 (トータル)

町長の政治姿勢と推進体制は

問 令和4年度予算の政治姿勢と
進捗状況は

答 令和4年度に於いて「人を大切にする」こ
とを基本とした予算・補正予算を編成して、
取り組んだ。 **福本町長**

問 令和5年度予算は

答 新たな展開に向けて、財政面と、本当に緊
急対策的なものを中心に計上した。 **福本町長**

問 「参与」の考え方、及び 任命権者は

答 町政における重要課題の解決に向けて、町
長の求めに応じ、町政への助言に期待して設
置。町長が採用する。 **福本町長**

問 過疎地域(琴浦町東伯地区)優遇措置等、
今後の取り組みは

答 過疎債はハード(建物・道路)・ソフト(イ
ベント)で、事業内容、財政を見極めて実施
したい。 **福本町長**

問 課長級8人配置換え、異例の予算

編成中半数、町長は「問題ない」の報道に、町長
の見解は。

答 異例中の異例も、主な目的は組織力、組織
生産性の向上と、職員の能力発揮がある。令
和5年度予算を効果的に執行するため。 **福本町長**

問 人事への教育長の関与は

答 関与していません **田中教育長**

鳥取中央農協店舗閉店について

問 鳥取中央農協の2店舗閉店情報に、
町の対応は

答 「閉店後も日々の買物に困らないようにし
てほしい」との要望を受けた。町と県とが情
報共有を図りながら、買い物環境維持に取り組んで
いく。 **福本町長**



Aコープ トピア店



澤田 豊秋 議員

問

人権の視点に立った行政の推進は

答

人権の視点はすべての課において
言えること
福本町長

質疑応答時間 (13回 (質問) 30分 + (答弁) 31分) (トータル) 61分

人権尊重の社会づくり

問 基本方針に基づいて、具体的にどのような計画で推進されるのか

令和3年4月1日から琴浦町人権尊重の社会づくり条例が施行され、第5条に基づいて人権施策基本方針が定められた。具体的にどのような計画で推進されるのか。

答 本年3月末で策定を終え、この計画に沿って推進していきたい。 福本町長

本年度基本計画は作成中ですが、3月末に策定を終え、この計画に沿って推進していきたい。

問 幸福度という視点を持ったまちづくりを

本町は健康寿命日本一を目指してきたが、誰もが幸せな人生を送るために幸福寿命というか、幸福度という視点を持って町づくりを進めては。

答 目配りをしながら 福本町長

全ての人の幸福度を数値化するのは難しいが、目配りをしながら、対策は取っていきたい。

問 人権の視点に立った行政の推進をどのように考えているか

答 人権の視点は重要 福本町長

人権の視点はすべての課において言えることで大変重要なことであると考えている。

問 人権研修を行動化へ

人権研修を職場や地域での実践行動化につなげて欲しい。また、職員がどんな意識をもって行動しているか調査してみては。

答 各課でやっていくべき 福本町長

常日頃から仕事を通して実践している。各課でやっていくべき。

問 差別事象への対応は

差別事象等の対応として、人権啓発検討会義が設置されているが、どのように取り組んでいるか。

答 具体的な啓発、再発防止に努める 福本町長

差別事象の発生を受け、人権啓発検討会議を開き、解決に向けた具体的な啓発、再発防止に向けた取り組み等を検討し、具体的なものを出していく。

問 意識調査の実施時期は

意識調査はいつ頃実施される予定か。また、インターネットやSNSの発達、新型コロナなど人権課題が複雑多様化している状況を踏まえ、当事者、現場、町民の声をより一層集めた取り組みをすべきではないか。

答 6年度に実施 福本町長

令和5年度に調査内容を検討し、6年度に実施する予定。また、人権施策の推進にあつては、有識者をはじめ広く住民団体や当事者の声を取り入れながら進めていく。

問

『まちづくりセンター』化しなくても、
公民館活動で十分では

答

公民館活動のままで十分活動して
いるところもあったり、いろいろ
である
福本町長



川本 善孝 議員

質疑応答時間 (10回 (質問) 27分 + (答弁) 22分) (トータル) 49分

問 古布庄地区での『まちづくりセンター』
化の中間総括は

令和4年より古布庄地区で「モデル的」「先行的」
に地区公民館を廃止し『まちづくりセンター』化が
実施されたが、その中間総括を伺いたい。

答 地域差があるので、全く同じように
なるとは思っていない 福本町長

規模や地域の特性はそれぞれだ。琴浦町内でも地
域差があるので全く同じようになるとは思っていない。
いまモデルになっていただくところ(古布庄・以
西・安田)は中山間・奥部ということで、中山間が
廃れては困るので、積極的に支援していきたい。

問 『まちづくりセンター』化しなくても
公民館活動でできないか

答 目的は地域の人が活性化してくれる
ことが一番 福本町長

公民館の中には自治会もついているし、その自治
会の機能を充実させるためには公民館が有効だと
思っている。

公民館を基軸にしたものがほしいというところだ。

問 『国連家族農業の10年(2019~2028)』
に対する所見は

答 日本は家族農業が基本
地域の環境保全という役割もある 福本町長

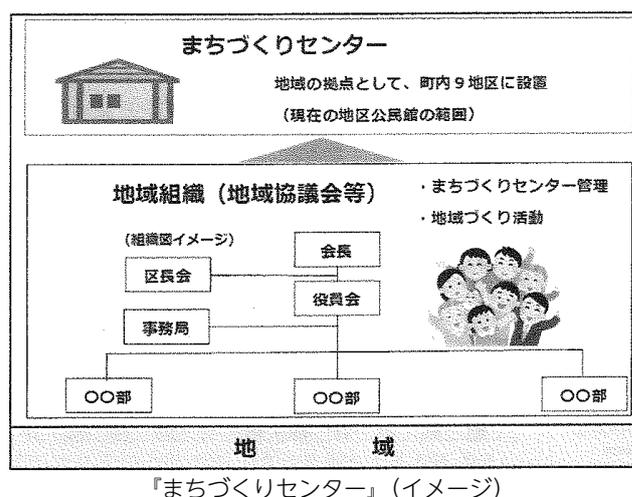
問 『半農半X』についての所見は

国・県も『半農半X』を推奨している。

答 生きがいを持ちながら農業するという部分の
ウエートが大きいかなと思う 福本町長

そういう部分で移住定住の人には負担が少なく
済む。そこから農業をやりたいとなったときには、
農業生産の方に入っていき例もあると思う。

問題となっているのが土地の継承。次の世代が農
業をやっていないわけだから、うまくいかない。貸
付けも含めて土地を動かしていかないといけない。
縁のない遠方の人でも、自分の後継者として育てる
パターンもこれから増えてくるかなと思っている。





田中 肇 議員



東伯総合公園及び赤碕総合運動公園の「PFI」検討結果について



「PFI」を断念する

福本町長

質疑応答時間 (15回 (質問) 30分 + (答弁) 22分) (トータル) 52分

東伯総合公園及び赤碕総合運動公園のPFI検討結果について

問 PFI事業の検討結果は

東伯総合公園及び赤碕総合運動公園の改修・運営等に関するPFI事業の検討結果について伺う。

答 PFIを断念する

福本町長

事前公募を行った結果、参加の意思表示が2グループのみであり、これを踏まえ、PFIを断念する。

生涯学習センター(まなびタウン)の整備方針について

問 耐震性に問題があるか

まなびタウンのリニューアル事業の争点に建物の耐震性の問題があった。

基本設計した業者が指摘した、根拠となるデータはあるのか。

答 データはない

福本町長

当時、リニューアル事業の設計を実施した時に改めて耐震診断を行っていないので、そういうデータはない。

そのため、どういう影響があるか、示せない。

問 施設で修繕が必要な箇所は



空調設備と入口玄関ドア

福本町長

令和5年度は空調設備と玄関ドア。
他に建物に関するものは殆ど軽微な改修。

町づくりセンター構想について



取組に関わる起案及び決裁文書は

町づくりセンターに関する起案及び決裁文書について資料請求したが、提出がない。

行政組織として意思の決定手続きを、何時、何処で、誰が、どういう方法で行ったのか。



直接の決裁文書はないが、平成27年のまち・ひと・しごと創生戦略に記述がある

福本町長



決裁文書というものはない

田中教育長



「議事録は今後作成しないこと」とあるが令和3年8月22日に開催された八橋地区行政座談会の会議報告書の意見欄に「議事録は今後作成しないこと」と記載され、前町長の印がある。

懇談会は区長や住民の意見を聞くためにある、その会議の記録を行政が残さないという事とは。



その指摘に困惑している

福本町長

問

琴浦町人権施策基本方針の推進状況と課題について伺う

答

人権問題は複雑に絡み合っているため、どう気づくかが課題
 福本町長
 普遍的観点と個別の人権問題を整理し、人権研修を実施していくことが課題
 田中教育長



谷田 順子 議員

質疑応答時間 (14回 (質問) 30分 + (答弁) 40分) (トータル) 70分

問 職員の人権研修を業務の一環として実施しないか

琴浦町人権尊重の社会づくり条例には、町政の全ての分野で人権に配慮し、人権尊重の社会的環境づくりと人権意識の醸成・高揚に取り組むとある。

さらに、差別事象対応マニュアルでは、町職員には様々な人権問題を解決する責任と人権教育・啓発を推進する役割があると明記されている。

その責任と役割を果たすために、職員の人権研修を業務の一環ととらえて定着化させる考えはないか。

答 日々の業務が研修の場 福本町長

3年間のコロナ禍の中で、内部での研修頻度も少なくなっている。

ただ単に研修を受け、いい先生の話の聞けばいいということではなく、日々の業務での気づきが大切である。日々の業務が研修の場だと思っている。

答 教職員は年間計画を立て研修時間を確保している 田中教育長

学校が多忙化している中、研修時間の確保は難しく研修時間を短くしたりオンラインを活用するなどして研修時間を確保している。また、研修の年間計画を立てることで、研修時間を確保している。

問 文化センターが担う役割の支援体制はできているか

琴浦町人権施策基本計画・実施計画によると、文化センターは町民の相談を丸ごと受け止

め、解決に向けて取り組む中心的役割を担い、また17項目にも及ぶ個人人権課題の研修・啓発にも取り組むとなっている。

さらに、子ども食堂・地域食堂にも取り組むとされている。会計年度任用職員のための職場にこれだけの業務が課せられていることについての考えをうかがう。

答 文化センターが全てを網羅するわけではない 福本町長

それぞれの課で相談業務にかかわっており、人権相談に係ることも多々ある。

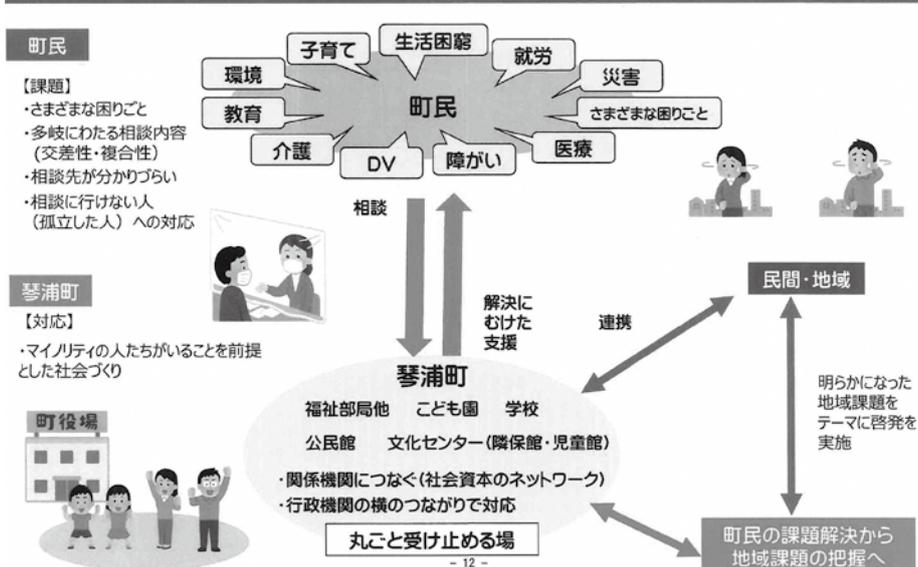
文化センターに主になってもらうが、連携は取っている。

答 関係部所に振り分けながら連携して解決していく 田中教育長

非常に多岐にわたり多忙な職場・勤務状況になっていることは承知している。

できるだけ協力体制を取りながらやっていきたい。

関係機関と連携した相談支援体制体系図





川本 正一郎 議員



地域の活性化対策について



**今後も持続化に向けた施策に取り組む
積極的に展開する**
福本町長
田中教育長

質疑応答時間 (20回 (質問) 30分 + (答弁) 42分) (トータル) 72分

住みたい町づくり

問 全国 671 市町村が参加した「住みたい田舎」ランキング (宝島社) の発表で、「人口 1 万人以上 2 万人未満のまち」部門で総合 1 位だった。この結果をどのように評価され、今後の施策を推進されるのか伺う。

答 **これまでの取組みが評価** 福本町長
この結果により多くのメディアで取り上げられる機会が増加した。近年、町への移住に関する需要が高まっており、問合せも有った。今後は移住者のニーズに沿った移住支援策の拡充を図っていきたい。

答 **教育に対する一定の評価** 田中教育長
教育に独自の予算を設け、英語教育予算や大学進学者に対する町独自の奨学金制度、スポ少や地域スポーツクラブが活発であること。給食において地元産食材を積極的に使用していることなどが評価されたと思う。

問 調査アンケートの内容から町の課題と今後の施策を伺う。

答 **新たな取組みを支援する** 福本町長
空き家活用対策や新築について、また子育て世代に手厚い支援を図りたい。家族や親子連れでの体験ツアーなどの計画をしており、アドベンチャー指導者の養成も検討している。

地域の活性化対策

問 新型コロナウイルス感染症に関わる対策や支援策の実施状況と効果をどのように評価されているのか伺う。

答 **その段階に応じた支援** 福本町長
各種支援については、その段階に応じた支援を実施してきたと評価している。商工業者は極めて厳しい状況にあり、今後も持続化に向けた施策を重点的に取り組む。また観光入り込み客数の回復に向けた観光活性化の施策にも取り組みたいと思っている。

問 農業分野でも農業資材や飼料価格の高騰により影響を受けているが、現状をどのように認識されているのか。また今後の農業振興対策をどのように考えているのか伺う。

答 **総合計画を重点的に** 福本町長
生産コストの上昇が価格に反映されないことから厳しい経営状況にある。琴浦町第 3 次総合計画に掲げた、農畜水産物の生産振興と担い手の育成、スマート農業の推進を重点的に取り組む。

問 アフターコロナを見据えた、学校や公民館活動の対策や計画を伺う。

答 **積極的に展開する** 田中教育長
コロナ禍で事業数や参加者が減少したが、感染状況や国県の方針も踏まえて教育・地域活動を積極的に展開していく。



鳥獣害対策を地域おこし協力隊で



任期中のサポート体制、
任期後の所得安定など課題があり、
慎重に判断したい
福本町長



手嶋 正巳 議員

質疑応答時間 (12回 (質問) 12分 + (答弁) 13分) (トータル) 25分

問 鳥獣害対策を地域おこし協力隊で

- ①中山間地域で猪の対策に苦慮している。地域おこし協力隊員を募集して対策を。
- ②地域おこし協力隊員は現在、全国で約6,000人、2024年度末迄に8,000人、2026末迄に1万人を目指すと言っているが。
- ③協力隊の任期はおおむね1年から3年、重要なのは任期終了後の定住率を高めることでは。
- ④協力隊に地域に入って起爆剤として、盛り上げてもらいたいと思うが。

答 活用に向けては課題もある 福本町長

- ①以前地域おこし協力隊を活用した経過がある。任期中のサポート体制、所得の安定など課題がある。
- ②協力隊を国全体として増やす方向性は認識している。
- ③主要農作物を生産される後継者としての活用、担い手の活用など考えている。
- ④指導体制なり仕組み等含めながら検討していく。

带状疱疹の特徴

- はじめは「ヒリヒリ」「チクチク」といった皮膚の痛み。その後、水ぶくれを伴う赤い発疹が帯状に広がる。眠れなくなるほどの激しい痛みを伴うことも少なくない
- 腕や胸、背中など上半身に発症することが多い。顔や首などに症状が現れることもある
- 後遺症として、带状疱疹後神経痛 (PHN) で痛みが長引くことも
- 治療には主に抗ウイルス薬を用いる

問 带状疱疹ワクチン接種の助成

- ①成人の9割に発症リスクがあり50歳を境に発症率が急激に上昇し80歳までに3人に1人が、罹患するといわれている。
ワクチン接種が効果的ですが定期接種の対象でないため、費用は全額負担となっている。
- ②接種費用は生ワクチンが1回接種で1万円、不活化ワクチンが2回接種、1回あたり約2万円である。
国の地方創生臨時交付金を活用し生ワクチン6千円、不活化ワクチン3万円(2回分)を助成しては。

答 実施する方向で進めていく 福本町長

- ①琴浦町内では国保被保険者で1.5%程度だと確認している。
(国保だけしか確認はできない)
- ②国も定期的に接種化について検討中と聞いている。町としてもそれをふまえて、実施する方向で進めて行きたい。

2種類の带状疱疹ワクチン

	生ワクチン	不活化ワクチン
接種回数	1回	2回
予防効果	約51%	約97%
費用	約1万円	1回当たり約2万円



押本 昌幸 議員

問

資料にある「混構造」をどう考えるか

答

中身は認めていない

福本町長

質疑応答時間 (38回 (質問) 30分 + (答弁) 54分) (トータル) 84分

問 まなタンの「混構造」*について考えは

- ①令和3年11月に配られた資料に書かれている「混構造」についての考えを聞きたい。
- ②では、当時の議事録(要約)を確認すべき。(確認の結果、社会教育課作成の資料であると判明)
- ③構造計算設計士からの「混構造」の問題点が書かれている。

*混構造

異なる構造を組み合わせて建てられた建物のこと

答 中身は認めていない

- ①資料としては認めがたい(確認のため中断〇分)。
- ②結果としては(「資料」である)方向だが、中身は認めていない。
- ③可能性があるというだけでは、危険性は分からない。

問 県「福祉のまちづくり条例」の責務は

- ①県の「福祉のまちづくり条例」がある。大きな改修をやる時には条例に準ずる責務があるが、琴浦町はどうか。
- ②条例に基づく措置は必要ないとの判断は。

答 まなタンの部分は大規模改修時に

- ①たこ公園、浦安地区公民館は適合。まなタンは大規模改修をしないので、条例の適用を受けない。
- ②最終的には町だと思ふ。

問 まなタンの長寿命化は

- ①長寿命化はするということだが、その考え方はどうなのか。
- ②11億円でさえ巨大だというのに17億円はできないだろうが、まなタンは鉄骨造耐用年数は。
- ③では、築40年だと耐用年数を超えるが。
- ④「公共施設等総合計画」では、従来の施設(の改修)は、面積で4割減しないと財政がもたないが。

答 築40年までに大規模改修その後に

- ①建築から30年程度は修繕、同40年までに大規模改修、その後60年経過で長寿命化工事。工期は2年、17億円。
- ②19年から34年だという。
- ③少しずつ修繕を行い、最終的に大規模改修だ。
- ④その4割減は検討している。

問 選挙ビラの6項目は課題? 反対?

- ①令和4年3月定例会で、選挙ビラの6項目はすべて反対という意味ではなく、問題が解決してない部分だと。が、12月には、まなびタウンの改修は行わないと(選挙戦で)るる言ったと、要は反対だと。どちらがほんとうか。(後略)

答 課題がクリアできれば賛成

- ①私が思った部分がクリアできれば賛成して進めている。まなタンについては中身に反対だと話した。(後略)



保育現場の環境改善を



職員、子どもたちの負担にならないよう対応していきたい

福本町長



金光 敦 議員

質疑応答時間 (10回 (質問) 9分 + (答弁) 23分) (トータル) 32分

保育現場の環境改善

問 保育士の数は足りているか

保育士のなり手不足が全国的に問題となっているが、琴浦町の保育士の数は足りているか。

答 国の基準を上回る部分もある

教育・保育の質の向上と、保育教諭・保育士の負担軽減を目的に国の基準を上回る町独自の職員の配置基準を設けている。具体的には1歳児と3歳児の部分で、県の基準と併せて国基準を上回る配置を行っている。

問 時間外勤務などの状況は

保育士の業務が多様化、複雑化するなかで、時間外勤務やサービス残業は行っていないか。

答 本来の事務時間が確保できない状況があった

コロナ禍であり、園児の感染予防対策などで公立・私立ともに保育現場にかなりの負担が生じ、本来の事務時間が確保できない状況があった。

問 保育現場の処遇改善を

政府から打ち出された子育て支援策の大幅拡充を受けて、保育士の給与アップや保育以外の業務の削減などの処遇改善を考えていないか。

答 業務を外部委託し職員の負担を軽減

ICTシステム導入により事務の効率化を図っている。また、コロナ禍による備品の消毒作業や園庭の芝の管理、園の駐車場の除雪作業などを外部委託することにより職員の負担軽減を図っている。

婚活事業の企画

問 琴浦の婚活事業を企画しては

答 婚活という言葉に抵抗感を持つ人も 福本町長

過去に町が主催した婚活では町内在住者の参加者が少なかった。婚活という言葉に抵抗感がある人もいたので、もう少し肩の力を抜いたイベントが良いのではないかという提案が、広域連合のほうで出ている。

答 検討会を重ねながら取り組んでいる 福田農業委員会会長

農業委員会主催の婚活は13回行われ、成婚された組が9組出ている。農業・漁業の後継者確保のイベントを、検討会を何度も行いながら企画し実行している。



小椋 正和 議員



東伯総合公園及び赤碕総合運動公園とサッカー場の整備は



PFI事業地元事業者の参画がないが、サッカー場は令和7年に着手

福本町長

質疑応答時間 (23回 (質問) 24分 + (答弁) 23分) (トータル) 47分

PFIの見直しは

問 見直しをされた原因は

PFI導入の目的は、老朽化施設の改修と民間の持つ質の高いサービスの提供と言われていたが、なぜ見直されたのか。

答 事業者の参加がない 福本町長

地元事業者の参画意向が得られなかったという事により、事業実施を見直すことにした。

問 早い判断は出来なかったか

最近の諸般事情を考えれば、もっと早く見直すための判断が、出来なかったのか

答 事業者の参画が不確実 福本町長

地元事業者の参画が不確実な状態で本公募を行うのではなく、PFI方式での、事業実施の可否があるかないか、事前公募で確認した。

問 これまでの時間と経費は

これまでに関わった時間と、経費はどの程度になっているか。

答 令和2年度より実施 福本町長

2年度より具体的な検討を開始して、委託料812万円、3年度4年度委託料1,995万円。

問 事業者へのPFI事業の理解度は

PFI事業を行う難しさが出ている、この手法の事業者への理解度は、どの程度理解していただいていたのか。事業説明は何回ぐらい実施したのか。

答 PFI手法の理解が得られなかった 福本町長

単体の業務を個別に仕様発注する従来の事業手法で、公共事業を行ってきた事業者の理解が得られなかった。町内企業、町外企業を対象とした勉強会を3回、4回実施した。分かるようにした予定でしたが、不十分だったのかと考えている。

問 今後の公園整備の計画は

PFIを導入するという事で、それぞれに改修されなければならない事業が、先延ばしになっているが、その整備はどう計画されるのか。

答 他の官民手法で検討 福本町長

より良い施設となるよう検討をする。

サッカー場整備

問 サッカー場整備は急がれないか

PFI事業の見直しで、サッカー場の整備が早急に必要だが、取り組まれないか。

答 令和7年度改修に着手 福本町長

令和5年度に議論を深め、7年度から改修に着手することを見込んでいます。

問 天然芝、人工芝どう選択

整備には色々議論があったどのような選択をされるのか。

答 ゼロベースで検討 福本町長

5年度中に結論を出し、方向性を示していく。



**酪農に春くるか（酪農に危機感）
救済対策と堆肥処理施設整備は**



**国のR4補正予算、R5予算で対応
したい** 福本町長



桑本 始 議員

質疑応答時間（ 13回 (質問) 30分 + (答弁) 24分) (トータル) 54分

問 畜産農家の救済対策（経営悪化）と堆肥処理施設整備で町としての取り組みと補助は

(1)-1 ロシアのウクライナ侵略が引き金となり、飼料代、資材高騰を受けて酪農家の離農が加速し、また3月より乳量の少ない低能力の牛に対して早期淘汰を支援する事業も、1頭15万円の補助、また都道府県の酪農も厳しく購入飼料代も1頭50万円に迫る現状である。一方、子牛価格の下落により平均価格も昨年1年間約20万円下落。肉豚肥育・養鶏農家も原油高による経営悪化。町としての救済対策は。

(1)-2 令和5年JA鳥取中央の国内肥料資源利用拡大対策事業が検討され、国のみどりの食料システム戦略による有機堆肥の活用促進によりJAの堆肥センター新築と約10億円の事業計画に、生ごみ、下水の汚泥を堆肥化する構想が挙がっているが、町の補助はどう考えているか。

答 県に要望し、国の力を借りたい 福本町長

(1)-1 畜産経営緊急救済事業として、令和3年度と令和4年度の飼料価格の差額の1部を補助しており、令和4年度中の畜産農家への支援を合わせて、9037万2千円。町としても要望事項を整理し県へ要望し国に上げ、ぜひとも国の力を借りたい。

(1)-2 県中部の糞尿を堆肥化するため、町単独で改修費補助は行う予定がない。畜産堆肥・生ごみ・下水の汚泥も含めて検討していきたい。

問 小規模高齢化集落に若者定住は

過疎化に歯止めをかけ、集落の担い手確保や地域が一体となって行う居住環境の整備・農林業等の生活基盤の改善に向けた事業（県の補助事業）について、町長は取り組まないか。脱限界集落にはどう対応されるのか。

答 移住定住アドバイザーで移住相談に対応 福本町長

来年度から移住定住サポーターを配置し、移住された方への対応を充実していきたい。

問 「未就園児・無園児」30自治体で預かり、保育所空き家活用、孤立防止とあるが

全国に182万人のが未就園児・無園児がいると推計されているが、本町の実態は。また、厚労省は来年から全国の自治体でモデル事業を公募するが、参加されるのか。

答 モデル事業を受け入れる体制ができていない 福本町長

琴浦町の就学前の乳幼児の内、こども園、保育園に通っていない子の割合は17.5%である。親たちの相談場所、子供が遊ぶ場を提供しているが、モデル事業までは体制整備ができていない。また、親子の孤立や虐待などのリスクについても伴走型で対応している。

町民の声

敬称略

里山を大切にしましょう

萩野農道の仲間は入植した30年前には15軒でしたが、今ここで農業をしているのは4軒だけです。年1回2時間だけとなった農道の草刈りには、農家とかつての仲間の息子たち（サラリーマン）で行われています。すごく助かっています。が、いっしょに農業をしてくれた方がずっといい。わずか4軒では萩野を守れない。農道及び農地を守れば、山林の樹木も森林組合が車で来れて守れます。何万本もの樹木が守られ地球温暖化防止に役立ちます。私達が頑張っているうちに一般の人々が誤り（安易な簡便化や生活水準の向上）に気付き、自然に近い仕事を大切に、農林水産業に戻るのを期待します。我園は入植当初、時代の潮流にのって梨単作の経営、しかもほとんど袋をかぶしての栽培でした。今は梨のほとんどを太陽光をいっぱい浴びて育つ無袋にしました。他に自家用野菜・山菜・いろいろな果樹・山羊に囲まれています。映画鑑賞や読書・スポーツも好きですが、農園にいる時間がほとんどです。今の潮流のままだと山際から荒れ、水田も荒れ地が散在し、一旦緩急の際には食糧は輸入できず国内で自給しようにも荒れ地ではすぐに育たないという事になります。山際にお宝があります。タラ・ワラビ・ゼンマイ・ウド・桃・栗・柿・りんご・梨・梅・ミカン・レモン・ブドウ・苺いっぱい作れます。色んな鳥・虫・獣がいます。さらにきれいな空気に貢献できます。自然に帰れ、農業に帰れ。



いぬかい たつお
犬飼 達夫

海と山が見えてJRの駅が近いところ

県外出身の私たち夫婦が鳥取県に家を建てる時、赤碕を選んだ理由。それから27年ご近所様に助けられながら子ども3人が育ち、PTA仲間のつながりで想像もしなかった仕事を経験した。しかし、そもそも私がなぜ鳥取に来たのか、コロナ直前に東京の幼馴染と会って思い出した。地球環境問題に対して私に何ができるのか、鳥取で学ぼうと思ったから。予測不能な人生いろいろで紆余曲折あったが原点回帰。昨年「つながる」というイベントを開催して、自分の暮らしと地球・世界の人とのつながりを楽しく発見している。もったいないとか誰かの犠牲に成り立つ製品とか、消費者一人一人が知っていたほうが良いことがテーマ。物事の背景を知って選択できるようになりたい。いつまでも美しい海と山が見えて、JRが走り続け、人とのつながりをよるこび助けられながら暮らすために。よかったら『つながる』来てみてください。



いけだ のりこ
池田 則子

イベント案内

わたしたちのSDGs つながる2023春

日時 5月7日（日） 10:00～16:00

場所 道の駅ポート赤碕 情報コーナー2階

あとかき

わが広報委員会チーム（新人議員6名）も2年目に入りましたが、1年目に作成した「議会だより」4回発行の反応が大いに気になるところ。というよりも、「議会だより」そのものを読んでもらっているのかどうか。

2年目に入り、より身近な広報物にしたいため、内容など工夫をしながら作成しようと考えています。みなさんからこんな「議会だより」だったら読むよ。ということで、ご意見、ご感想などをいただけたらうれしいです。 (秀)



議会広報常任委員会

委員長 川本 善孝
副委員長 金光 敦
委員 山本 秀正
委員 田中 肇
委員 谷田 順子
委員 小椋 憲浩

題字 山田 美鈴氏